

山鹿市・六郷小

広い運動場 胸に刻む

新校舎建設前に駅伝大会

山鹿市の六郷小は2日、学校統合に伴いスペースが狭まる運動場で、全児童による駅伝大会を開いた。約130人が10チームに分かれ、広々とした運動場でたすきをつないだ。

六郷小は来年4月、城北小、内田小と統合して菊鹿小となる。新校舎は六郷小グラウンドの一部にかかるように建設される。工事が本格化するのを前に、「名物」の広い運動場を思い出に刻んでほしい」（池田幸春校長）と企画した。

運動場を大回りすると約500メートルで、低学年から順にたすきリレー。優勝チームのアンカーを務めた6年生の青木瑠惟君は「こんなに広がったんだ、と実感した。みんなで協力してゴールでき、楽しかった」と笑顔を見せた。（潮崎知博）



思い出の運動場でたすきをつないだ六郷小の児童ら

＝山鹿市（六郷小提供）